

別 添

酪農学園大学獣医学類における日本獣医師会主催 「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向け セミナー」開催報告と学生の反応

浅川満彦[†] (酪農学園大学 獣医学群 獣医学類
感染・病理学分野／同学類就職委員)

2017年1月20日、(公社)日本獣医師会が主催した形で「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー」が開催された。このセミナーは平成28年度 獣医療提供体制整備推進総合対策事業・管理獣医師等育成支援事業・獣医師就業支援対策事業の一環として、他大学でも実施されている [1] が、今回は、獣医学類3年生を対象にした正規授業内で行われたことから、酪農学園大学 獣医学群 獣医学類が共催する形式をとらせてい

ただいた。振り替えられた授業は『獣医寄生虫病学各論B』(獣医学類3年、必修)であったが、その理由は著者が当該学類のこの科目の担当であったことから、調整が簡略という便宜上の利点を優先したからであった。

貴重な授業を振り替えるには、学生に対し、明確な説明責任を果たすことが必須である。授業は学生のものであるからだ。当該課目後期最後のコマをこのセミナーに充当していたので、昨年12月の2コマの授業を用い、

[†] 連絡責任者：浅川満彦 (酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 感染・病理学分野 獣医寄生虫病学ユニット)

〒069-8501 江別市文京台緑町582 ☎011-388-4758 FAX 011-387-5890 (獣医学群事務室)
E-mail: askam@rakuno.ac.jp

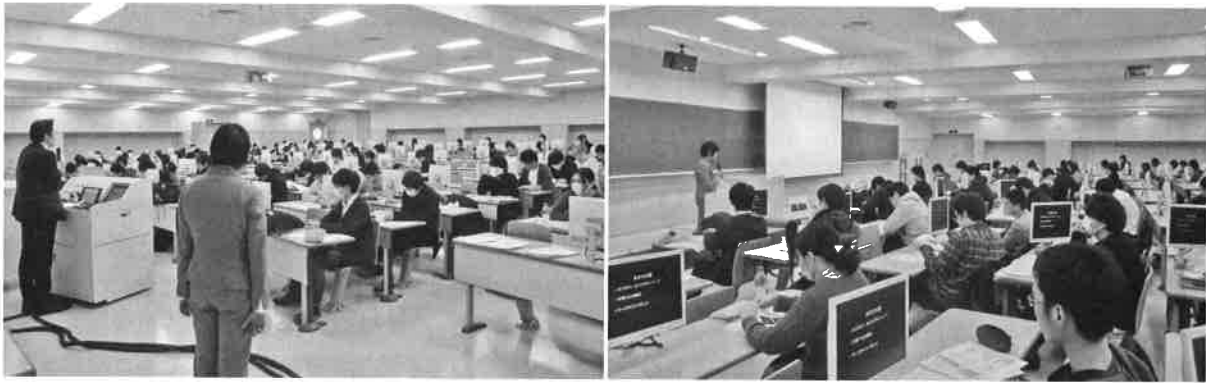


図1 日本獣医師会主催/酪農学園大学獣医学類共催「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー」開催状況（左：長野獣医師による趣旨説明，右：額田獣医師による講演）

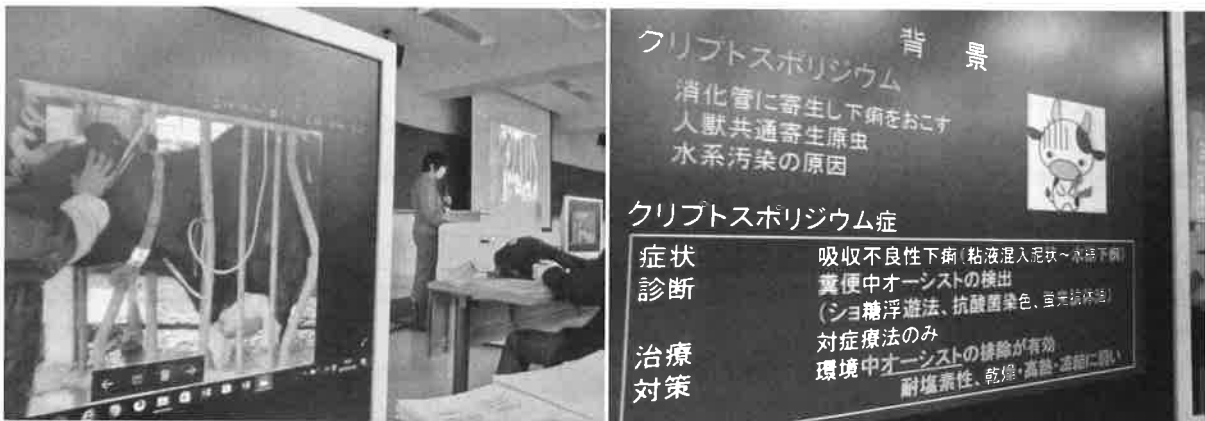


図2 額田獣医師による講演で用いられたスライド抜粋（左：診療の様子，右：寄生虫病の症例）

その予告と趣旨説明をした。また、聴講後、感想文の提出を依頼していた。この感想文は記名式で、専用紙を配布し、そこには記された内容が本報告で引用されることもあるとも知らせた。当然、彼らの胸中には出欠チェックも兼ねたものとされていたであろう。

セミナーは10時10分に開始され、まず、日本獣医師会事務局・長野晋太郎 獣医師が本セミナーの趣旨説明を（図1左）、次いで千葉県農業共済組合連合会東部家畜診療所 係長・額田聡子 獣医師が『女性獣医師の就業現場の現状と今後について』と題された講演（図1右）で構成されていた。両講師には大変申し訳なかったが、会場となった教室では、セミナー直後に別の教員による別の学年の授業が控えており、双方30分ずつの時間は、例外なく厳守！の念を押させていただいた。

額田獣医師による講演では、農家における診療の様子や彼女ご自身の生活・趣味（マラソンや空手など）にも触れていただいたものであった（図2左）。また、寄生虫病の授業を転用されたことを心に留められていらしたようで、講演終わりには彼女自身が経験された牛の原虫性疾患（ジアルジア・クリプトスポリジウムの混合感染症）についてもお話しいただいた（図2右）。これは、著者から事前に何も依頼はしていなかったのに、驚きつ

つも大変嬉しかった。前述したように授業は学生のものである。今回のセミナーのように本来の授業内容と大きく外れることによるクレーム惹起の危険性を孕んでいたため、このような配慮は「保険」となろう。感謝したい。

出席者は『獣医寄生虫病学各論B』履修者の学生93名（提出感想文数）のほか、及川学類長、中出教務部長、十倉就職部長ほかの教員であった。実は額田獣医師は本学臨床系教室の出身であったことから、教え子の活躍を実見しに参加されたようだ。本学類学生の就職状況は著者[2]が紹介したように、伴侶系動物病院約60%、農業共済組合約13%、公務員約24%、民間農場約2%、その他約1%で、生産動物医療分野の比率がほかの大学よりやや高いのが特徴である。したがって、額田獣医師の講演内容に関しては、ほぼすべてが好意的な感想ばかりとなった。

しかし、これは記名式であったため、当たり障りのないことが記入された可能性があるため、むやみに信じてはならないだろう。本セミナーでは主催者の日本獣医師会が別に用意した無記名アンケートも用意されていたが（提出は任意）、そちらの自由記入欄には批判的な意見も少なくなかった。抜粋すると「むしろ女性を区別してしまう」、「性的マイノリティーも同様に扱うべき」、「アン

ケートに性別記入する欄は不要」などである。また、記名式感想文に1名の女子学生から、痛烈な批判が寄せられた。すなわち、女性は子どもを産むための道具であるような固定概念を押し付けられたように感じ、「女性支援」という語は気軽に使うべきではない、正規授業を利用して強制的に行うべきものではなかったことが記されていた。語の捉え方などで必ずしも正鵠を得たものとは言えない部分も認められたが、自身の考えを持ち、これを率直に披瀝されること自体、評価すべきであるし、このような後輩（著者も本学出身）を持ち得たことを誇りに思いたい。

最後に本セミナー対象を学部3年生に絞り込んだのが適当であったのかどうかについて論考したい。通常、本学の場合、このようなセミナーは就職部が受け入れて行う。対象も5、6年生などのような就職を目前にした学年が対象とされていた。実際、ほぼ同じ内容の講演会が午後に実施され、1年生2名、5年生6名の計8名が参集した。だが、3年生は入学時の熱き思いがやや冷めか

け、しかし、卒業まではまだまだという中弛み状態である。また、学生間に性差は認識されず（想像すらできない）、むしろ女性は勉強熱心で、ゆえに成績が良いとされている。そのような「穏やかな」状況下で、日本獣医師会の「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー」を実施することは、やや勇気が必要な試みではあった。しかし、批判的な感想を熟読された及川学類長が「もし、居酒屋で彼らと一緒にいることがあったら論議したい」と吐露されていたが、著者もまったく同感である。この試みが中弛みの学生たちと教員が真剣に論議する端緒となったとしたら、それだけで成功であったのではなかろうか。

参 考 文 献

- [1] 栗本まさ子：すべての獣医師がのびのびと活躍できる環境づくりのために、日獣会誌, 69, 56-59 (2016)
- [2] 浅川満彦：酪農学園大学獣医学類卒業者の就職動向とその対応, 獣医学振興, 5, 37-40 (2016)

感動の実話が、映画から素敵な本になりました。

日本獣医師会 推薦

小学館
ジュニア
文庫

夢は牛のお医者さん

絵本



観客の感動をよび、数多くの賞を受賞したドキュメンタリー映画『夢は牛のお医者さん』を書籍化。新学期、新入生のいない小さな小学校に“入学”してきたのはなんと3頭の子牛。牛の世話をするなかで少女が抱いた夢、それは「牛のお医者さん」になることだった…。



赤羽じゅんこ／著
宮尾和孝／絵
定価：[本体700円]+税
新書判・192頁
ISBN978-4-09-230867-1

時田美昭／作
江頭路子／絵
定価：[本体1,500円]+税
A4判変/32頁
ISBN978-4-09-726654-9



小学館愛読者サービスセンター TEL03-5281-3555
http://www.shogakukan.co.jp

小学館